

ふるさと不足に読んで効く



ご購入のお申し込みは

・電話 [0120-367-464](tel:0120-367-464)
 ・オンライン [ご購入](#) [試読紙](#)
転居のご連絡はこちら



ふるさとメディア

ホーム

今日の社説

コラム「時鐘」

「地鳴り」投稿

本 アクタス・北國文華

求人・転職情報

富山新聞より

読者のダイヤル&メール

富山新聞データサービス

紙面や写真をオンライン注文

・紙面プリント ・記念日新聞
 ・掲載写真 ・空欄写真

過去の新聞記事、紙面を検索

掲載した紙面をそのまま表示

最新健康のみならずへ RICOH
 医療向けフィナンシャルサービス

病院・診療所の経営を
 「リコーリースの強み」でフルサポート

**ドクター
 御用達**

リコーリース株式会社

オリックス自動車 ホントに!
初期費用0円、
 月々のお支払いだけで、**新車に乗れる!!**
 そのわけは... [詳しくはこちら](#)

ホットとニュース【2月27日01時39分更新】

カエデ樹液「甘い」 上市・あそあそ自然学校

雪の山林の散策や樹液を使ったシロップ作りが26日、上市町浅生(あそ)の「あそあそ自然学校」で行われ、親子ら約20人が自然体験を楽しんだ。3軒しかない過疎の山間地が子どもたちの歓声で活気づいた。

「あそあそ自然学校」は約15年前、浅生で生まれ育った代表の谷口新一さん(46)らが地元の活性化を願い、開設した。この日は富山、魚津、射水市から親子や児童が訪れ、まず雪の山林散策から体験した。

子どもたちは雪上に残されたカモシカやウサギのふんを「チョコボールだ」と喜んだ。

続いて、谷口さんは自宅の周りに自生するカエデの幹に穴を開けてホースと容器を取り付け、樹液約1・5リットルを採取。鍋で樹液を煮詰めると、メープルシロップが出来上がり、味見した児童が「砂糖水みたい」「舌がとろける」と声を上げ、パンに付けて食べた。

谷口さんは「稲作や炭焼きをして祖先が生きたこの地を守り、自然の恵みをいただく知恵も子どもたちに伝えたい」と話した。子どもたちはかまくらも作って雪遊びした。



カエデの樹液のシロップを味わう児童＝上市町浅生、あそあそ自然学校

その他のホットとニュース

水見ブリなど、極上味覚に舌鼓 高岡で「食でめぐる加賀藩」

CR-V 1台プレゼント

企業の農業体験をサポート 白神山地の傍で、企業の農業体験 サービス「みんなたば！」始めました。 mintaba.jp≪4-6歳向け≫Z会幼児教育 親子と一緒に学ぶ経験学習！ 考える子 "を育てる/ 無料資料請求 www.zkai.co.jp富山の中古住宅土地情報館 富山市射水市で家を売るのも買うのも 県内最大級の情報量のおうち情報館 ie11.jp

Ads by Google